

フルーツファーム

人からしてほしいと思う通りに、人にもする

Vol.17

2022-Jul

AINOMI

あいの実のビジョン

数字
で見える
あいの実



— あいさつ 理事長 乾祐子
— ありがとう！10年以上在籍スタッフ
— 相談支援あいの実オリーブ開設

あいさつ

社会福祉法人あいの実
理事長

乾 祐子



□SWCあいの実理事長
□一般社団法人全国重症児者デイサービス・ネットワーク顧問
□昭和27年生まれ仙台市出身
平成17年に主婦数人と共に「NPOあいの実」設立。自身や子供たちも特定難病疾患を経験し、それらの経験を生かした「弱い人を理解できる・頑張っている人を応援する経営」をめざす。

太陽の樹

コロナ蔓延から早二年、感染者は高止まりしながらもその状況に慣れも感じ始めている自分に喝を入れる日々です。二年は長かったような短かったような不思議な感覚に襲われます。

二年の間に利用者の方たちにも様々な変化がありました。子どもたちの成長も遅しさを感じさせます。あいの実の通所「ラズベリー」で、今年も成人を祝う会が開かれました。あんなに小さかったのにと感慨に浸るとともに、成人までお子さんを育ててこられた親御さんたちの持つ愛の力に毎年感服しています。これからもみんなが成長していく姿を見られるかと思うと楽しみです。

あいの実が社会福祉法人になってから初めての新規事業が6月から始ま

りました。「相談支援あいの実オリープ」です。以前からは是非やりたいと思っていたサービスマです。主に重心・医ケア児を対象としています。相談支援という言葉に馴染みのない方もおられると思います。相談支援は障がい児者と様々な公的サービスマとを結びつけるとても重要な役割を担っています。その働きは家族のライフスタイルコーディネーターと呼べるものです。相談支援員資格を持ったスタッフが、「こんなサービスマが使えますよ、こんな事業所さんがありますよ」と教えてくれるわけです。また、現在だけでなく将来を見据えたプランを考慮してくれます。まさにライフコーディネーター。オリープは『太陽の樹』と呼ばれているそうです。太陽の暖かみでホッとしてくれるように、相談支援あいの実



オリーブのサービスを利用してくださる方たちの気持ちがあいでも暖かく、楽になればと願っています。

以前からお知らせしている医療型ショートステイのプロジェクトが大きな節目を迎えました。ついに建物に着工し、2023年4月オープンする予定です。あいの実のホームページでも詳細をお伝えしています。是非ご覧ください。わたしたちも、これまで係わってきた利用者の方たちの喜ぶ姿を早く見たいとワクワクしています。あいの実のベリー施設(あいの実の通所施設はベリーの名前で統一されている)ラズベリー、クランベリーに続き、満を持して放課後等デイサービス・生活介護「ブルーベリー」と医療型ショートステイ「ストロベリー」が登場します。ストロベリーはベリーなの?というツッコミはしないでください。ストロベリーショートケーキとショートステイを掛けているなんて言う噂も(笑)。これらの施設が大勢の方たちの将来の光になればと思っています。

医療型ショートステイの開設は、あいの実にとって大きなマイルストーンです。でも、わたしたちのロードマップではまだ道半ば。ご家族の人生の再構築の支援を全方位から行えるよう、あいの実はまだまだ成長していきます。どうぞ皆様の応援よろしくお願いたします。

人からしてほしいと思うことを、
人にする

再構築 re-create

あいの実のビジョン

絡まった人生をすっきりさせ、再び将来に光が見えるように。

**重い障がいがあっても尊厳を持ち、
生きがいの再構築ができる社会の実現。
福祉医療のイノベーションにより、
働きかたの再構築ができる社会の実現。**

大切な赤ちゃんが、医療的ケア児であることを知った時。自分が、家族が、不治の神経難病であると知ったとき。当たり前前の人生と将来の展望が突然失われたと感じます。がむしゃらに介護を行い、自分や家族の人生の再設計もままならず、ただ時間だけが過ぎていくと感じる方たちもいます。あいの実はそうした方たちに目を向け、サステイナブル（持続可能）に支援していくことを目指しています。

ビジョン

あいの実のビジョンを掲げました。ビジョンとは目指す社会の姿です。

サステイナブルにビジョンを実現するため、本人と家族だけでなく、支えるスタッフも視野に入れたビジョンとなっています。本人、家族、スタッフの三方が協同することにより、重い障がいを持つ方と家族を支え続けることができるようになりま

障がい児者本人にとっての ビジョン

自分が神経難病になったと知った方たちの中には、人としての尊厳を失ったと感じる方もいます。しかし、決してそのようなことはありません。人から敬われ、笑い、生きる実感を持ってもらいたいと思います。確かにこれまで出来ていたことが出来なくなり、それでも「できること」をテクノロジーを利用して見つけ、最大限つかって生きがいを見出し、人生の再構築をすることを目指します。

重心児や医療的ケア児のように重い障がいをもって生まれて

きた子どもたちは狭い社会の中で生きており、社会から尊厳を持たれているのかさえ不明瞭な場合があります。また、自立という面では健常の子どもよりもはるかにハードルが高く、社会人として生き方を再構築する必要があります。テクノロジーを用いたイノベーションによって社会との係わりをさらに深めることを目指します。

障がい児者の家族にとっての ビジョン

現実として、家族に障がい児者がいることで様々な制約が生じます。例えば、常勤雇用されることやパートで働く事さえ、絶え間なく続く介護によって難しくなることがあります。そのため社会との係わりが疎遠になり、そのような状況がいつまで続くかわからないため、人生計画がたてづらいつと感じる方も大勢います。また、兄妹も自分の家族は普通ではないのではないかとこの悩みを抱えている



本人も、
家族も、
スタッフも。



子もいます。テクノロジーを用いた新しい働きかたや、家族にとって働きやすい仕事を生み出す必要があります。障がい者である子の自立を思い見ることが出来、関係する家族皆が自分の将来を再構築できる社会を目指します。

スタッフにとっての ビジョン

福祉医療は、新しい考え方や革新的なアイデア、最新の技術により一層斬新します。

あいの実は、女性に働きやすい環境づくり、育休の活用、ワークスタイルの転換、テレワークの導入などにより、様々な家庭のケースに対応した職場になる必要があります。人生のイベントによって生活環境が変わっても、あいの実の中で働きかたを変え、自分のキャリアを生かし続けられる職場環境を目指します。

学歴・職歴・病歴・国籍・性別など不問で採用活動を行い、働く人すべてに平等のキャリアアップの機会がある職場を目指します。



フルーツファーム発行日変更のお知らせ

あいの実がNPOから社会福祉法人になったことを受け、団体の決算時期も変更となりました。それに合わせてあいの実の季刊誌であるフルーツファームの発行日が変更されました。今後は7月と1月の発行となります。今後ともフルーツファームをよろしくお願いいたします。

数

字

で見ると

令和3年度め

あいの実

あいの実のスタッフの人数

81名

訪問介護の年間サービス件数

約22,800件

「喀痰吸引等研修第1号」を持っているヘルパー

22名

「喀痰吸引等研修第1号」は、
不特定の方に喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部)・
経管栄養(胃ろう又は腸ろう、経鼻)を実施可能になる制度です

10年以上あいの実に勤務している人
23名
そのうち15年を超えている人
7名

あいの実の入浴サービスを
利用した障がい児者
延べ3,520名

あいの実の送迎車が
一年に走った距離

77,832キロ

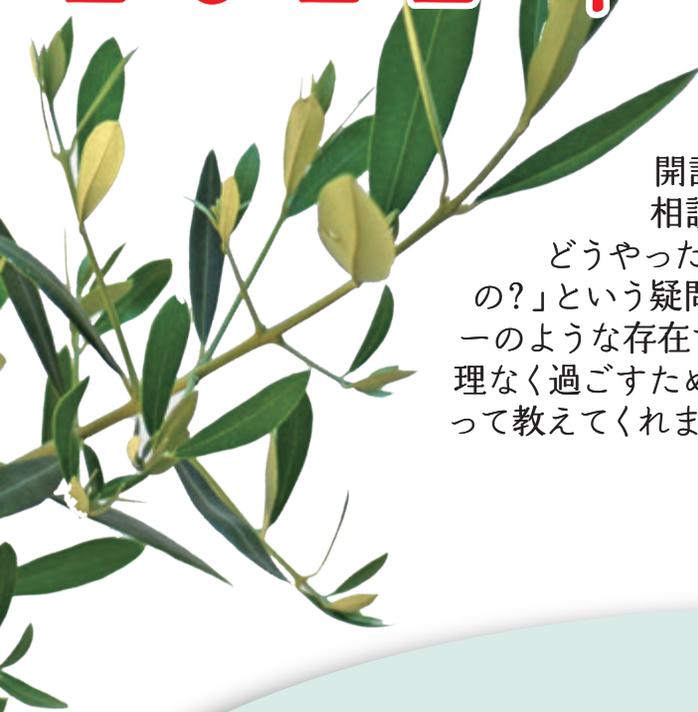
(地球1.95周)

あいの実の送迎車に
乗車した障害児者延べ人数

16,472名

知る人ぞ知る数字
あいの実の通所に通ってくる障がい児の
医療的ケアの判定スコア
790点
平均スコア27.2点/人

相談支援あいの実オリーブ 2022年6月1日開設



重い障がいを持つ子と保護者のための相談支援が開設されました。

相談支援員は、「うちの子はどんなサービスを使えるの? どうやったらサービスを使えるの? 将来はどうしていったらいいの?」という疑問に答えてくれる、家族のためのライフコーディネーターのような存在です。子どもの成長を促すための計画や、ご家族が無理なく過ごすための様々なサービスや仕組みやアイデアを親身になって教えてくれます。

ご利用希望はこちらへ
TEL:080-5094-7574
相談支援員:岩元優子



ありがとうございます!
10年以上在籍スタッフ

あいの実に10年以上在籍しているスタッフを紹介していきます。
(2022/6/30現在)
長年に渡ってあいの実を支えてくださる大切なメンバーです。
これからもどうぞよろしくお願ひします!



遠藤真弓さん

スタッフ登録

2012年3月1日

皆様のご理解やサポートのおかげで10年を迎えることができ、ありがとうございます。
理念に沿ったケア、働きに日々近づけるようこれからも、つとめていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



日野慎一郎さん

スタッフ登録

2012年4月1日

あいの実に入ってから早いもので10年経ちました。皆様には、色々とお世話になり感謝しております。今後何かとご迷惑おかけしますが、宜しくお願い致します。



SWC あいの実が取り組んでいる社会課題
一緒に解決しませんか？

重心・医ケア児家族のQOL問題

我が子が重い障がいをもって生まれると分かった時、家族が受ける衝撃は想像を絶します。新生児集中治療室から重症心身障がい児・医療的ケア児が退院すると、お父さんお母さんの壮絶な生活が始まります。お母さんは美容院に行く時間もありません。近くのスーパーに行くにも、子どもと共に医療機器をすべて車に積み込み、超特急で買い物をして帰ってきます。（お父さんも大変な苦勞をしています）兄妹児は「自分の家族は普通じゃないんじゃないか」という悩みを抱えています。人生の再構築もできず、時間だけが過ぎていく家族も少なくありません。

あいの実は、重い障がいのある子どもたちの家族のQOL（Quality of Life）の向上の問題に取り組んでいます。問題の解決は、お母さんの就労や家族全体の精神的安定や人生設計の再構築へもつながる大切な問題です。

簡単には解決しない問題ですが、多くの方の理解と支援を得てモデルを作り、全国に波及させることによって社会問題を解決していきます。

みなさんの寄付によって成し遂げられること

1500/月

1人の重症児をお風呂に1.5回/月入れることができます。お父さんお母さんの毎日の大きな負担を軽減することができます。

3000/月

100人の方が寄付してくださると、1年に1件新プロジェクトが立ち上がり、障がい児のお母さんの雇用の場が1か所広がります。

AINOMI
SWC あいの実
人からしてほしいと思う通りに、人にもする。

人知れず何年も
**2時間以上連続で
睡眠が取れていない
お母さんがいます**

!

1日50円~の寄付で
一時の安らぎを
プレゼントすることができます

寄付の方法

1

あいの実ウェブサイト又はQRコードを読み取って寄付ページにアクセスします。



2

寄付ページから **寄付する** を選択して情報入力画面に入り、情報を入力。

3

決済方法を選択。
クレジットカードの場合は決済情報を入力。
銀行振込の場合は「銀行振込」を選択。
入力が終わったら「入力内容確認画面」へお進みください。

4

決済を確定。
登録したメールアドレスに確認のメールが届きますのでご確認ください。

※マンスリーでの寄付はいつでも中止することができます。

LINE 公式アカウント

SWC あいの実のLINE公式アカウントに登録してください。あいの実のプロジェクト、採用情報などの最新情報を配信しています。



《編集・発行》社会福祉法人あいの実
〒981-3217宮城県仙台市泉区実沢字中山北100-2
Tel:022-785-9440 / Fax:022-774-2807
Mail:info@ainomi.com / HP:https://ainomi.com